

# 神奈川県環境インターンシップ ”受入企業”を募集しています！

応募期限



3月20日

(水)

神奈川県では、大学生や大学院生が、環境に関する取組を積極的に行っている企業での業務を体験することで、環境問題に関する知識や、その解決に必要な意欲・実践的能力を身につけることを目的として、「環境インターンシップ」を実施しています。

皆様の環境の取組を広くPRし、CSR活動を新たに展開する機会としてご活用いただくとともに、若い世代への環境教育を社会全体で支えるため、ぜひご協力をお願いします。

## 環境インターンシップとは

<p>対 象</p>	<p>【受入企業】 環境に関する取組を積極的に行っている企業</p> <p>【研修生】 神奈川県内にキャンパスを有する大学に在籍する大学生及び大学院生</p> 
<p>研修期間</p>	<p>原則、平成31年7月下旬から9月30日の期間内で10日間程度(応相談)</p>
<p>研修内容</p>	<p>受入企業が、受入れが可能な定員及び期間の範囲内で、研修場所、研修期間及び研修内容等、研修の実施に係る詳細を決定します。 ※平成30年度実施結果をご参照ください。</p>
<p>実施の流れ</p>	<p>2月～3月 ○<u>受入企業の募集</u> 県:HP等に募集要項を掲載</p> <p>4月～6月上旬 ○<u>学生を募集</u> 県:県内にキャンパスをもつ全大学へ募集要項を送付、HPへも掲載 大学:学生へ周知</p> <p>6月上旬～7月下旬 ○<u>企業－学生のマッチング</u> <u>受入企業</u>:受入れ可能な学生を決定 県:大学に受入れの可否を送付</p> <p>○<u>事前調整</u> <u>受入企業</u>、研修生、大学、県:実施にあたっての諸手続や内容等の詳細を調整</p> <p>7月下旬～9月30日 ○<u>インターンシップの実施</u></p> <p>終了後 ○<u>まとめ</u> 研修生:「修了レポート」を県に提出、報告会参加 <u>受入企業</u>:「評価書」を県に提出、報告会参加 県:報告会等を開催</p> 
<p>費用負担</p>	<p>研修生は無給。交通費、出張旅費など全ての経費は、研修生個人又は大学が負担します。</p>
<p>服 務</p>	<p>研修生は研修期間中、受入先の服務規律に従うとともに、受入先の担当者の指導、監督等に従うほか、秘密保持の義務を負うこととなります。</p>

研修生の  
受入れ決定!

# スケジュール(予定)

時期		県	受入企業	大学	学生	
2月～3月	受入企業の募集	◆受入先企業を募集	◆受入の可否及び研修概要を検討、回答(詳細は後日調整) <b>様式1</b>			
4月～6月上旬	研修生の募集	◆大学に受入企業リストを送付し、研修生の募集を依頼		◆学内で研修生を募集	◆大学と協議・相談の上、受入企業を選択	
		(◆推薦書等を受領、内容確認)		◆参加希望の学生がいる場合、応募用紙、推薦書、エントリーシートを県に提出 <b>様式2</b> <b>様式3</b>	◆エントリーシートを大学へ提出 <b>様式4</b>	
			[* 詳細な条件等に関する大学からの問合せに対応]	[* 必要に応じ、詳細を企業に問合せ]	[* 必要に応じ、詳細を企業に問合せ]	
6月上旬～7月下旬	マッチング作業	◆受入企業に、推薦書とエントリーシートを送付	(◆受領)			
		(◆報告を受ける)	◆受入可否を決定、県に報告 [* 必要に応じて、学生に関する情報を大学に請求]	[* 学生に関する問合せに対応]		
		◆受入先の報告を受け、マッチング結果を受入企業及び大学に送付	(◆受領)	(◆受領、学生へ連絡)	(◆研修先の決定)	
	事前調整		◆学生の希望日を調整し、実施日程を決定。			◆参加可能日程を企業へ連絡
		(◆受領、大学に1部送付)	◆「実施計画」を作成、県に送付 <b>様式5</b>	(◆受領)		
	◆大学との「覚書」や、学生の「誓約書」が必要な場合は提出を依頼	(◆受領)	◆学生へ「誓約書」の作成を依頼 ◆「覚書」を作成 ◆「覚書」及び「誓約書」を企業に提出(必要がある場合) <b>様式6</b> <b>様式7</b>	(◆受領) ◆「誓約書」を大学に提出(必要がある場合)		
	(◆企業からの連絡を受け、大学と調整)	◆事前説明会を開催する場合は県に連絡			(◆参加)	
7月下旬～9月	研修の実施	◆必要に応じ、企業・学生をサポート	(◆実施)		(◆実施)	
		(◆受領、大学に1部送付)	◆やむを得ず中止する場合、県に「中止決定」を連絡 <b>様式8</b>	(◆受領)		
研修終了後	成果の評価	(◆受領、受入先企業及び大学に各1部送付)	(◆受領)	(◆受領)	◆「修了レポート」を作成し県へ提出 <b>様式9</b>	
		(◆受領、大学及び学生に各1部送付)	◆「評価書」を作成、県に送付 <b>様式10</b>	(◆受領)	(◆受領)	
	公表の結果の	◆実施結果を県のHP等で公表				
	報告会	◆報告会等を開催(10月～11月)	(◆参加)	(◆参加)	(◆参加)	

平成30年度実施結果

受入先(実施期間)	学生	インターンシップの主な内容
株式会社大川印刷 (5日間または7日間)	関東学院大学(経営学部) 東京工芸大学(芸術学部)	◆SDGsを取り入れ、印刷業務を通じて工場内のゼロエミッションに向けた環境配慮・これからの社会の考え方を学ぶ。 ◆社会課題を自らの意識・気づいたことから社内へ発信、提案力をつける。
生活協同組合パルシステム 神奈川ゆめコープ (6日間)	桜美林大学(リベラルアーツ学群) 明治学院大学(法学部)	テーマ:生協業務を通してパルシステムの環境活動を知る ◆主な実習内容:環境活動の取組みの学習(座学) ◆組合員拡大(営業)の補助・供給(配送)の補助 ◆組合員活動運営の補助
株式会社総合環境分析 (10日間)	麻布大学(生命・環境科学部) 東京工芸大学(工学部) 明治大学(農学部)	◆上水・環境水・事業所排水・土壌の環境分析 【主な分析項目】ノルマルヘキサン抽出物質、一般細菌検査、大腸菌検査、pH、SS 【その他】現場測定、サンプリング業務(業務の都合による)
株式会社ディグ(関連会社ミノソリューションズ株式会社) (10日間)	明治大学(農学部)	◆企業経営に役立つ「環境経営マネジメント」の理解 ◆ITを活用した環境ソリューションビジネスの理解 「環境関連ビジネスモデルの検討」などの課題検討 ◆社外の方を招いての発表会
東鉄工業株式会社 (6日間)	関東学院大学(理工学部)	◆暑熱対策技術の効果測定および評価の実地作業。 ◆緑化事業における植栽の選定や植え替えの実地作業。 ◆太陽光発電所の仕組みやメンテナンス法の実地解説。 ◆SDGsを念頭に据えた環境ビジネスの立案補助。 ◆実際の現場視察を通じた品質の評価。
中日本高速道路株式会社 (5日間)	東京都市大学(環境学部) 明治大学(農学部) 横浜商科大学(商学部)	◆当社の事業概要(建設、保全、サービスエリア事業など)紹介、各事業に関する現場見学(環境に関する取組を含む)、現場での実習、グループワーク など
パシフィックコンサルタンツ株式会社(9日)	麻布大学(生命・環境科学部) 東京都市大学(環境学部)	◆生活環境・自然環境の調査・予測、環境アセスメント・生物多様性関係の報告書とりまとめ等 ◆廃棄物管理計画全般 ◆温暖化政策・気候変動影響の調査分析、エネルギープロジェクト検討等 ◆上下水道施設の設計・調査・計画・アセットマネジメント等 ◆地盤工学や応用理学に関する解析、調査等
株式会社日立製作所 システム&サービスビジネス	東京工芸大学(工学部) 明治大学(農学部)	◆IT事業の部門において、製品での環境配慮の状況を理解した後、環境製品や環境活動へのアイデアを提案する 1)規則:情報セキュリティ規則の理解と順守 2)講義:ISO規格関連、環境管理、環境関連法令解説と順守の仕組み、環境活動と管理実務、資源循環・製品回収の概要、製品開発での環境配慮(ハードウェア・ソフトウェア) 3)見学:エコファクトリー・エコオフィス・日立 IT エコ実験村 4)実習:製品・サービスのCO2排出量算定:LCA評価 5)提案・発表:『環境活動と気候変動に対応する解決策』

## 受入企業／学生の声

### 一企業担当者Aさん一

何事にもまじめで、難しい課題についても他の研修生と力を合わせて取り組み、期待以上のアウトプットをしていただきました。



### 一企業担当者Bさん一

意欲的な学生さんに来ていただくことで、企業側にも非常に刺激になります。改善提案もしていただき大変参考になりました。



### 一企業担当者Cさん一

今回のインターンシップは初めての受入で、課題設定も手探りでしたが、研修生の協力により有意義なものにすることができました。



### 一企業担当者Dさん一

C S Rを推進する観点からも、今後も積極的に学生の実習を受け入れたいと考えます。



### 一学生Aさん一

一つの企業がこれだけ環境に優しくあろうと努力しているのだから、私たちも小さなことでもコツコツ環境にやさしい行動を積み重ねた方がいいと感じました。



### 一学生Bさん一

環境管理のための仕事は非常に責任が大きく、やりがいのあるお仕事であることを知ることができました。



### 一学生Cさん一

与えられた業務に対して、勤務時間内に終わらせるにはどう考えて取り組めばいいのかを考え、全体をイメージする大切さを学びました。



### 一学生Dさん一

就職するのがゴールではなく、自分がどのような人間として生きていくか、その場所が職場であることを学びました。

### 一学生Eさん一

普段の生活の中でも、今回学んだリサイクルの大切さを忘れずに、小さなことから環境保全に貢献していきたい。



### 一学生Fさん一

机上で学ぶだけでは感じることはできない「環境活動」の難しさややりがいというものを知ることができました。



### 一学生Gさん一

自分の考えを伝えることや他人の意見をくみ取りながら議論を進めることの難しさと大切さを学びました。



### 一学生Hさん一

働くことの中にも、お金以外のものを見いだせることができるのだということを教えていただきました。

### ◆問合せ先

神奈川県環境農政局環境部環境計画課環境計画グループ 担当：宮島  
〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通 1  
電話：045-210-4065（直通） ファクシミリ：045-210-8952

### ◆HP「神奈川県環境インターンシップ」

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f160198/p20329.html>

要領や様式はこちらのHPに掲載しています。

